

事業所における自己評価結果

公表日: 2026年3月6日

事業所名 こころ園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	13	2	定時排泄や外活動に出かける際は、クラスごとに時間差をつけることで、混雑を解消するようにしています。利用者様を1人でも多くお受けするため、窮屈さを感じられることもあるかと思いますが、動線の確認を行い、過ごしやすい環境づくりに努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	12	3		マンツーマンを基本としていますが、急な職員のお休みや長期休暇時は2対1にするなど、臨機応変な対応を行っています。業務の見直しも行いつつ、さらに効率化できるよう取り組んでいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	26	7	0	現在の施設設備、環境をすぐに変更することは難しいですが、安全に配慮し、活動時間や動線を工夫しながら活動していきます。引き続き視覚的構造化を重視した環境整備に取り組んでいきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	25	7	1		環境整備については、法人内の他事業所に協力してもらいながら取り組んでいます。日ごろから整理整頓を心がけ、清潔で心地よいこころ園にしていきたいと思えます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	24	8	1	基本的には静養室を使用していますが、使用中の際は相談室やドームを活用しています。利用者様の落ち着くスペースを確保できるよう、状況に合わせて臨機応変な対応をしていきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	25	7	1	日々のミーティングや月1回のミーティングを行い、職員間で情報共有を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26	6	1	検討会議を開催し、工夫している点や改善案をまとめ、その後全職員と共有しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	8	1		ミーティングではたくさんの意見が出て、積極的な議論がなされていますが、今後さらに一人ひとりの意見が出しやすく、皆で検討していける雰囲気づくりを心がけていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	17	1		今後、機会があれば検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	30	3	0	虐待防止研修やマカトン研修、支援技術研修など、年間計画を基に各研修を開催しています。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	29	4	0	ホームページにて公表しています。	時間に限りがあるため、業務を簡素化できるよう見直しを図っていきたく思います。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	30	3	0	保護者様との面談や日々の支援からアセスメントを行い、分かりやすく具体的な個別支援計画を作成することを心がけています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31	2	0	ミーティングを通して、職員の皆さんからの意見を参考にしながら、個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	29	4	0	作成した個別支援計画は全職員で共有し、個別支援計画を基に日々の支援に取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	10	1	記録を取る時間を工夫し、記録用紙も簡素化されたことで、ポイントを分かりやすくまとめられるようになりました。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	26	6	1	ガイドラインで示されている発達支援を中心に、家族支援や移行支援、地域支援も盛り込んだ個別支援計画を作成しています。家族支援や移行支援については、保護者様との日々のやり取り、併用先との連携を通じて支援目標、支援内容を検討しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21	9	3	ミーティングを開催し、職員間で意見やアイデアを出しながら、支援に取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	14	3	基本のプログラムは年間を通して決まっていますが、活動の中に季節の歌や流行の体操、手遊びなどを取り入れています。利用者様が楽しく、集中して取り組めるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	7	1	集団活動が主ですが、室内活動の時間に個別課題を行ったり、帰りのプログラム時に課題遊びを行ったりしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	11	4	引き継ぎ情報をまとめたノートやレジユメを作成し、職員間で回覧、資料配布を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30	3	0	毎日支援後にはミーティングを行っています。その日の振り返りを当日に行うことができます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	30	3	0	今後の支援に活かせるよう、分かりやすく要点をまとめたケース記録を取っています。ミーティングで各自情報を共有し、振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	33	0	0	個別面談や日々の引き継ぎ、相談事業所とのモニタリングを通して日々の支援の確認を行っています。必要に応じて、適時見直しを図っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	8	0	責任者やクラス担任が参加し、その後ミーティング時に職員間で共有をしています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	26	7	0	責任者や児童発達支援管理責任者が、必要に応じて会議や検討会に参加しています。		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26	7	0	併用先の幼稚園・保育所の先生方と情報共有し、支援の方向性の確認を定期的に行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	8	0	就学前・就学後に、先生方と書面または電話連絡にて、引き継ぎや情報共有などを毎年行っています。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	18	14	1	自立支援協議会こども部会において、地域における今後の児童発達支援センターの役割などについて検討しています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	12	3	モニタリングを通して他事業所と情報共有を行ったり、支援の方向性についてすり合わせを行ったりしています。法人内の児童発達支援センターとも連携を密に図りながら、より良い支援を目指しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	18	2	自立支援協議会こども部会に参画し、定期的に行政や各関係機関と検討会議を行っています。	
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	13	14		行事や活動を通しての交流の機会は取れていませんので、今後検討していきたいと思います。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	32	1	0		時間に限りはありますが、職員同士で協力しながら、引き継ぎの時間を確保できるように取り組んでいます。
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	10	1		今後開催できるよう、講師や開催時期などを検討していきたいと思います。	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	28	5	0	契約時に説明をしています。丁寧かつ分かりやすい説明を心がけています。	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	32	1	0	保護者様のご希望、ご要望をアンケートや面談を通して確認し、お子様の成長に合わせた個別支援計画を作成しています。	
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	32	1	0	個別支援計画作成後に保護者の方への説明を行い、同意を得た上で交付しています。	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	31	2	0	日々の引き継ぎ時にお話を伺ったり、個人面談やおはなし会で悩み事相談をしたりするなど、気軽にお話しができるようにしています。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	14	2	年に3回「おはなし会」という保護者会を行っています。子育てや就学についての学習会や意見交換など、保護者様のコミュニティの場として開催しています。	
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	27	6	0	ご相談や気になることがあったときには、いつでもお話しができるよう心がけています。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	27	5	1	園だよりを2か月ごとに連絡アプリにて配信しています。園からのお知らせや日々の活動の記録を発信しています。	

非常時等の対応	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	32	0	1		今後も取り扱いについては、十分気を付けていきたいと思います。
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	30	3	0	写真カードやマカトサインなどを使用しています。様々なコミュニケーションツールを用いることで、意思疎通が図れるよう工夫しています。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	12	10	散歩や公園遊びの時には、ご近所の方と挨拶を交わしています。また、定期的に挨拶回りも行っています。	
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	32	0	1	各種マニュアルを策定、掲示しています。また安全計画を基に研修や訓練を実施しています。	
	45	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31	1	1	各種計画やマニュアルは玄関や事務所に掲示、もしくはタブレット端末にていつでも閲覧可能となっています。計画を基に研修、訓練に取り組んでいます。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	31	2	0	契約時に書面にて確認を取っています。必要であれば、主治医の先生から意見をいただくこともあります。	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	28	5	0	契約時に保護者様と一緒に書面にて確認を行っています。変更がある場合は、その都度書類を提出していただきます。また、年2回ある健康診断前には、食物アレルギーに変更がないか利用者様全員に確認を行っています。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	28	5	0	年度初めに安全計画を策定しています。安全計画を基に、研修や訓練を実施しています。	
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	27	6	0	新規利用の方には契約時、ご利用中の方には年度初めに、必ず安全計画を配布しています。	
50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	30	3	0	ミーティング時に職員間で共有し、再発防止に努めています。		
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31	2	0	毎年虐待防止研修を実施しています。その際、セルフチェックも行うことで、個人での振り返りもしています。		
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	30	3	0	個別支援計画に内容を明記し、保護者様に説明を行った上で同意を得ています。		